

福島県立医科大学大学院看護学研究科履修規程

	平成18年	4月	1日	規程第77号
一部改正	平成19年	4月	1日	規程第12号
一部改正	平成20年	4月	1日	規程第25号
一部改正	平成23年	7月29日		規程第25号
一部改正	平成25年	3月28日		規程第52号
一部改正	平成27年	4月	1日	規程第38号
一部改正	平成28年	4月	1日	規程第18号
一部改正	平成29年	3月10日		規程第67号
一部改正	平成30年	4月	1日	規程第1号
一部改正	平成30年	10月31日		規程第36号
一部改正	平成31年	2月27日		規程第51号
一部改正	令和元年	11月22日		規程第30号
一部改正	令和2年	6月30日		規程第35号
一部改正	令和3年	4月	1日	規程第6号
一部改正	令和4年	4月	1日	規程第13号
一部改正	令和5年	4月	1日	規程第66号
一部改正	令和7年	4月	1日	規程第34号

(目的)

第1条 この規程は、福島県立医科大学大学院学則(以下「学則」という。)第14条第2項の規定に基づき、看護学研究科における授業科目の履修方法及び単位の修得の認定等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 学則第14条第2項に定める授業科目、配当年次、単位数及び必修・選択の区別は、別表1又は別表2のとおりとする。

(単位計算の方法)

第3条 授業科目の単位数は、1単位45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による方法に応じ、教育効果や授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間をもって1単位とする。
- (3) 実習については、45時間をもって1単位とする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第4条 学則第20条に規定する入学前の既修得単位の認定(以下「既修得単位の認定」という。)を受けようとする者は、既修得単位認定申請書(指定様式)を別に定める期日までに、教育研修支援課を経由して、看護学研究科長に提出しなければならない。

2 看護学研究科長は、前項に定める既修得単位認定申請書を受理したときは、既修得単位の認定の可否について看護学研究科委員会に諮り、博士後期課程にあつては6単位を限度として、博士前期課程にあつては15単位を限度としてこれを認定する。

(主指導教員)

第5条 学生の履修及び研究等の指導を行うため、学生ごとに主指導教員を定める。

2 主指導教員は、研究指導科目を担当する教員をもって充てる。

(履修の方法)

第6条 博士後期課程の学生は、別表1に定める授業科目を専門科目8単位、選択科目2単位以上、特別研究科目6単位の計16単位以上を履修しなければならない。

2 博士前期課程の学生は、別表2に定める授業科目を共通必修科目8単位、看護特別研究6単位、専攻する領域の特論、演習、実習及び共通選択専門科目から16単位以上の計30単位以上を履修しなければならない。

ただし、CNS(専門看護師)コースの学生は、別表2に定める授業科目を共通必修科目8単位、看護課題研究4単位、専攻する領域の特論、演習、実習及び共通選択専門科目からがん看護学領域にあつては36単位以上の計48単位以上、精神看護学領域にあつては32単位以上の計44単位以上、小児看護学領域にあつては34単位以上の計46単位以上を履修しなければならない。

また、助産師コースの学生は、別表2に定める授業科目を共通必修科目8単位、看護課題研究4単位、専攻する領域の特論、演習、実習及び共通選択専門科目から50単位以上の計62単位以上を履修しなければならない。

(履修科目の登録)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学期の指定期日までに、所定の履修届により提出しなければならない。

2 履修届提出後は、授業科目を変更し、又は取り消すことはできない。ただし、看護学研究科委員会において特にその事情が正当と認められた場合は、この限りではない。

(成績の評価)

第8条 授業科目の成績については、筆記試験、レポート及びその他の方法(以下「試験」という。)により評価する。

- 2 講義及び演習については、授業科目の出席時間数が全授業時間数の3分の2未満の者は、当該授業科目の試験を受けることはできない。また、実習については、出席時間数が全時間数の5分の4に満たない場合、単位は認定されない。

(成績評価の基準)

第9条 学則第16条の2に定める試験による成績の評価については、100点を満点として評価し、60点以上を合格とする。

- 2 成績の評価区分と内容は次の表のとおりとする。ただし、博士論文及び修士論文については、別に定める。

評価区分	評点	判定	内 容
S	100～90点	合格	学習目標を達成したと認められ、極めて優れた成績であることを示す。
A	89～80点	合格	学習目標を達成したと認められ、とくに優れた成績であることを示す。
B	79～70点	合格	学習目標の核心部分を達成したと認められ、妥当な成績であることを示す。
C	69～60点	合格	学習目標の最低限度は達成できたと認められる成績であることを示す。
D	59～0点	不合格	学習目標の最低限度が達成できていないと認められる成績であることを示す。

(単位修得の認定)

第10条 授業科目の単位修得の認定については、試験その他の審査により授業科目の担当教員が行う。

(成績評価に関する異議申し立て)

第11条 学生は、成績評価に関し疑義等がある場合には、看護学研究科委員会に対し成績評価に関する異議申し立てをすることができる。

- 2 成績評価に関する異議申し立ての必要な事項は、別に定める。

(試験の欠席)

第12条 病気その他やむを得ない事由により試験を受けることができない者は、速やかに教育研修支援課に連絡し、試験欠席届を提出しなければならない。

- 2 前項の届には、病気の場合にあつては医師の診断書、その他の場合にあつては理由書を添付しなければならない。

(試験の種類)

第13条 試験の種類は、次に掲げるとおりとする。

(1) 定期試験

原則として各学期末に行う。ただし、授業科目の担当教員が必要と認める場合にあっては、適宜行うことができる。

(2) 追試験

第12条第1項に定める事由により試験を欠席した者については、看護学研究科委員会においてその事情が正当と認められた場合に限り、追試験等の方法によって成績を評価する。

(3) 再試験

試験により不合格の評価を得た授業科目について、本人の願い出に基づき再試験を行うことができる。この場合、成績の評価は60点を上限とする。

(再履修)

第14条 試験に合格しなかった者又は試験を受けなかった者が、翌年度においてその授業科目に係る単位を修得しようとするときは、原則として、再度、履修届を提出し、履修しなければならない。

(成績の通知)

第15条 授業科目の成績は、後日、文書により学生に通知する。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、授業科目の履修等に関し必要な事項は、看護学研究科委員会が定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行し、第4条及び第11条については平成26年

4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成32年4月1日から施行する。
- 2 平成31年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和元年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和2年6月30日から施行する。
- 2 令和2年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和4年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

別表 1 (看護学研究科看護学専攻博士後期課程)

授 業 科 目

◎は本学指定必修科目 ○は選択科目

授 業 科 目 の 名 称		標準 配当 年次	単位数 (時間数)	実践開発看護学
専 門 科 目	ケア開発看護学特講	1	2(30)	◎
	ケアシステム開発看護学特講	1	2(30)	◎
	実践開発看護学演習	1	2(60)	◎
	看護研究特講	1	2(30)	◎
選 択 科 目	看護人材育成論特講	1	2(30)	○
	看護心理学特講	1	2(30)	○
	看護病態学特講	1	2(30)	○
特別研究 科目	実践開発看護学特別研究	1・2・3	6(180)	◎
修了に必要な単位数		専門科目		8
		選択科目		2
		特別研究科目		6
		合 計		16

◎は本学指定必修科目 ○は専攻分野専門選択科目 ◇はCNS指定選択科目																		
授業科目の名称		標準 配当年次	単位数 (時間数)	基礎看護学		がん看護学		成人看護学	老年看護学	精神看護学		母性看護学・助産学		小児看護学		地域看護学		
				研究コース 基礎看護 生命科学	研究コース	CNS コース	研究 コース	研究 コース	CNS コース	研究 コース	助産学 コース	研究 コース	CNS コース	地域 コース	在宅			
修共 科通 目必	看護理論	1	2(30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護研究	1	2(30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護倫理	1	2(30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護研究方法論	1	2(30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
看護 専門 科目	基礎看護論（※1）	1	2(30)	◎														
	基礎看護学特論Ⅰ	1	2(30)	◎														
	基礎看護学特論Ⅱ	1	2(30)	◎														
	基礎看護学演習Ⅰ	1	2(60)	◎														
	基礎看護学演習Ⅱ	1	2(60)	◎														
	基礎看護学実習Ⅰ	1・2	2(90)	○														
	基礎看護学実習Ⅱ	1・2	2(90)	○														
	看護生命科学論（※1）	1	2(30)		◎													
	看護生命科学特論Ⅰ	1	2(30)		◎													
	看護生命科学特論Ⅱ	1	2(30)		◎													
	看護生命科学演習Ⅰ	1	2(60)		◎													
	看護生命科学演習Ⅱ	1	2(60)		◎													
	看護生命科学方法Ⅰ	1	2(60)		◎													
	看護生命科学方法Ⅱ	2	2(60)		◎													
	がん看護論（※1）	1	2(30)		◎	◇												
	がん看護学特論Ⅰ	1	2(30)		◎	◇												
	がん看護学特論Ⅱ	1	2(30)		◎	◇												
	がん看護学演習Ⅰ	1	2(60)		◎	◇												
	がん看護学演習Ⅱ	1	2(60)		◎	◇												
	がん看護学実習Ⅰ	1	2(90)		◎	◇												
	がん看護学実習Ⅱ	1	4(180)		◎	◇												
	がん看護学実習Ⅲ	2	4(180)		◎	◇												
	がん看護学実習Ⅳ	1	2(90)		◎	◇												
	緩和ケア論	1・2	2(30)		◎	◇												
	症状マネジメント	1・2	2(30)		◎	◇												
	がん医療におけるコミュニケーション	1・2	2(30)		◎	◇												
	看護ケア方法論	1・2	2(30)		◎	◇												
	成人看護論（※1）	1	2(30)						◎									
	成人看護学特論Ⅰ	1	2(30)						◎									
	成人看護学特論Ⅱ	1	2(30)						◎									
	成人看護学演習Ⅰ	1	2(60)						◎									
	成人看護学演習Ⅱ	1	2(60)						◎									
	成人看護学実習Ⅰ	1	2(90)						◎									
	成人看護学実習Ⅱ	1・2	2(90)						◎									
	老年看護論（※1）	1	2(30)						◎									
	老年看護学特論Ⅰ	1	2(30)						◎									
	老年看護学特論Ⅱ	1	2(30)						◎					</				

※1 専攻する領域以外の看護専門科目のうち総論科目は、共通選択科目として自由に選択できます。
 ※2 本学の「看護教育論」は 高度実践看護師教育課程（専門看護師38単位申請）の共通科目の認定を受けておりません。
 ※3 助産師コースは、「修了に必要な単位数」と「助産師国家試験受験資格を取得する場合の最低単位数」を明確に区別していないため、「修了に必要な単位数」を取得できなければ助産師国家試験受験資格を得ることはできません。

別表 2 (看護学研究科看護学専攻博士前期課程)

令和2年度から令和4年度までの入学生適用

授 業 科 目

◎は本学指定必修科目 ○は専攻分野専門選択科目 ◇はCNS指定選択科目

授 業 科 目 の 名 称	標準 配当 年次	単位数 (時間数)	がん看護学		成人看護学	家族看護学	老年看護学	精神看護学		母性看護学	小児看護学		地域看護学	
			研究 コース	CNS コース	研究 コース	研究 コース	研究 コース	研究 コース	CNS コース	研究 コース	研究 コース	CNS コース	研究コース	
													地域	在宅
修 共 科 通 目 必	看護理論	1	2(30)	◎	◎◇	◎	◎	◎	◎	◎◇	◎	◎	◎◇	◎
	看護研究	1	2(30)	◎	◎◇	◎	◎	◎	◎	◎◇	◎	◎	◎◇	◎
	看護倫理	1	2(30)	◎	◎◇	◎	◎	◎	◎	◎◇	◎	◎	◎◇	◎
	看護研究方法論	1	2(30)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
看 護 専 門 科 目	がん看護論 (※1)	1	2(30)	◎	◎◇	(*)								
	がん看護学特論Ⅰ	1	2(30)	◎	◎◇									
	がん看護学特論Ⅱ	1	2(30)	○	◎◇									
	がん看護学演習Ⅰ	1	2(60)	◎	◎									
	がん看護学演習Ⅱ	1	2(60)		◎◇									
	がん看護学実習Ⅰ	1	2(90)		◎◇									
	がん看護学実習Ⅱ	1	4(180)		◎◇									
	がん看護学実習Ⅲ	2	4(180)		◎◇									
	がん看護学実習Ⅳ	1	2(90)		◎◇									
	緩和ケア論	1・2	2(30)	◎	◎◇									
	症状マネジメント	1・2	2(30)	○	◎◇									
	がん医療におけるコミュニケーション	1・2	2(30)	○	◎◇									
	看護ケア方法論	1・2	2(30)	○	◎◇									
	成人看護論 (※1)	1	2(30)		◎									
	成人看護学特論Ⅰ	1	2(30)		◎									
	成人看護学特論Ⅱ	1	2(30)		◎									
	成人看護学演習Ⅰ	1	2(60)		◎									
	成人看護学演習Ⅱ	1	2(60)		○									
	成人看護学実習Ⅰ	1	2(90)		○									
	成人看護学実習Ⅱ	1・2	2(90)		○									
	家族看護論 (※1)	1	2(30)			◎								
	家族看護学特論Ⅰ	1	2(30)			◎								
	家族看護学特論Ⅱ	1	2(30)			◎								
	家族看護学演習Ⅰ	1	2(60)			◎								
	家族看護学演習Ⅱ	1	2(60)			○								
	家族看護学実習Ⅰ	1	2(90)			○								
	家族看護学実習Ⅱ	1	2(90)											
	老年看護論 (※1)	1	2(30)			(*)	◎							
	老年看護学特論Ⅰ	1	2(30)				◎							
	老年看護学特論Ⅱ	1	2(30)				○							
	老年看護学演習Ⅰ	1	2(60)				◎							
	老年看護学演習Ⅱ	1	2(60)				◎							
	老年看護学実習Ⅰ	1	2(90)				◎							
	老年看護学実習Ⅱ	1・2	2(90)				○							
	認知症看護論	1・2	2(30)				○							
	精神看護論 (※1)	1	2(30)			(*)		◎	◎◇					
	精神看護学特論Ⅰ	1	2(30)					◎	◎◇					
	精神看護学特論Ⅱ	1	2(30)					◎	◎◇					
	精神看護学演習Ⅰ	1	2(60)					◎	◎◇					
	精神看護学演習Ⅱ	1	2(60)					◎	◎◇					
	精神看護学演習Ⅲ	1	2(60)					○	◎◇					
	精神看護学実習Ⅰ	1・2	2(90)					◎						
	精神看護学実習Ⅱ	1	4(180)						◎◇					
	精神看護学実習Ⅲ	2	2(90)						◎◇					
	精神看護学実習Ⅳ	2	4(180)						◎◇					
	急性期精神看護論	1・2	2(30)					○	◇					
	リエゾン精神看護論	1・2	2(30)						◇					
	精神訪問看護論	1・2	2(30)						◇					
	地域精神保健論	1・2	2(30)					○						
	女性看護論 (※1)	1	2(30)			(*)				◎				
	母性看護学特論Ⅰ	1	2(30)							◎				
	母性看護学特論Ⅱ	1	2(30)							◎				
	母性看護学演習	1	2(60)							◎				
	母性看護学実習Ⅰ	1	2(90)							○				
	母性看護学実習Ⅱ	1	2(90)											
	母子保健論 (※1)	1	2(30)								○	◎◇		
	小児看護論 (※1)	1	2(30)			(*)				◎		◎◇		
	小児看護学特論Ⅰ	1	2(30)							◎		◎◇		
	小児看護学特論Ⅱ	2	2(30)									◎◇		
	小児看護学演習Ⅰ	1	2(60)								◎	◎◇		
	小児看護学演習Ⅱ	1	2(60)								○	◎◇		
	小児看護学演習Ⅲ	1	2(60)									◎◇		
	小児看護学実習Ⅰ	1	2(90)								◎			
	小児看護学実習Ⅱ	2	2(90)								○			
	小児看護学実習Ⅲ	1	2(90)									◎◇		
	小児看護学実習Ⅳ	1	4(180)									◎◇		
	小児看護学実習Ⅴ	2	4(180)									◎◇		
	地域保健看護論 (※1)	1	2(30)			(*)							◎	
	地域保健看護学特論Ⅰ	1	2(30)										◎	
	地域保健看護学特論Ⅱ	1	2(30)										◎	
	地域保健看護学演習	1・2	2(60)										◎	
	地域保健看護学実習Ⅰ	1・2	2(90)										◎	
	地域保健看護学実習Ⅱ	1	2(90)										◎	
	地域保健看護学実習Ⅲ	1	2(90)										◎	
	在宅看護論 (※1)	1	2(30)			(*)							◎	◎
	在宅看護学特論Ⅰ	1	2(30)										◎	◎
	在宅看護学特論Ⅱ	1	2(30)										◎	◎
	在宅看護学演習	1	2(60)										◎	◎
	在宅看護学実習Ⅰ	1	2(90)										◎	◎
	在宅看護学実習Ⅱ	2	2(90)										◎	◎
共 通 選 択 専 門 科 目	フィンカルアセスメント	1	2(30)		◎◇				◎◇			◎◇		
	病態生理学	1	2(30)		◎◇				◎◇			◎◇		
	臨床薬理学	1	2(30)		◎◇				◎◇			◎◇		
	健康情報学	1・2	2(30)			(*)								
	看護教育論	1・2	2(30)		◇	(*)						◇		
	コンサルテーションの理論と実際	1・2	2(30)		◇							◎◇		
	リハビリテーション看護論	1	2(30)						◇					
	看護マネジメント論	1・2	2(30)		◇							◎◇		
	ストレスと心身症	1・2	2(30)											
	看護と法	1・2	2(30)											
	看護政策論 (※2)	1・2	2(30)									◇		
	家族面接論	1・2	2(30)											
	現代家族論	1・2	2(30)			(*)								
研 究 指 導 科 目	看護特別研究	1後・2	6(180)	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	看護課題研究	1後・2	4(120)		◎				◎			◎		
合 計				30	48	30	30	30	44	30	30	46	30	30
修了に必要な単位数			共通必修科目	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
			看護専門科目	16	26(実習10)	16	16(※3)	16	24(実習10)	16	16	24(実習10)	16	16
			共通選択専門科目		10				8			10		
			研究指導科目	6		6	6	6	4	6	6	4	6	6
			看護課題研究		4									

※1 専攻する領域以外の看護専門科目のうち総論科目は、共通選択科目として自由に選択できます。

※2 本学の「看護政策論」は、高度実践看護師教育課程（専門看護師38単位申請）の共通科目の認定を受けておりません。

※3 家族看護学研究コースの「修了に必要な単位数」の「看護専門科目」「共通選択専門科目」16単位のうち必修を除く6単位は、(*)の11科目から選択すること。

(指定様式)

既修得単位認定申請書

年 月 日

福島県立医科大学大学院看護学研究科長 様

第 学年 ※学籍番号

氏 名 印

既に大学院で修得した単位のうち、下記の科目について、福島県立医科大学大学院看護学研究科において修得したものとして認定されますよう申請いたします。

記

単位修得 大学院名	既修得科目名	単位数	単位認定希望科目名	単位数	※認定 可否	※確認印
			合計単位数			

(必要書類) ・成績証明書または単位取得証明書 ・該当科目のシラバスのコピー等

※の欄は記入しないでください。